

2020年オリンピック招致

及び

2022年FIFAワールドカップ招致

に関する応援決議

指定都市として我々と行動を共にしている広島市が2020年オリンピックの招致開催を検討しているところである。

平和市長会議が世界の核兵器廃絶の目標年にしている2020年に、「平和の祭典」であるオリンピックを被爆都市広島において開催できれば、大変意義深いことである。

また、2022年FIFAワールドカップ開催に日本が名乗りを上げ、招致活動を展開しており、指定都市からは、札幌市・横浜市・大阪市・神戸市が開催地自治体として、札幌市・仙台市・川崎市・相模原市・静岡市・堺市・神戸市・広島市・北九州市・福岡市がチームベースキャンプとして立候補しているところである。

ワールドカップは、さまざまな国の存在を知り、民族性や価値観の違いを乗り越え、互いの理解を深めることのできる絶好の機会である。

世界中の人々が平和について考え、相互理解を深める契機となる国際大会を開催することは、関係都市だけでなく、全国に活力を与えるとともに、国際社会における日本の存在感を高める上でも非常に有意義なことであり、指定都市市長会はその活動を応援するものである。

平成22年8月4日
指定都市市長会